

オーストラリアレポート

# 豪州の2020年10-12月期GDPは内需主導で回復

- 2020年10-12月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前期比+3.1%と市場予想を上回る。
- 個人消費が中心となり豪州景気を押し上げ。経済活動再開のビクトリア州で個人消費が前期比二桁の伸び。
- 10-12月期の実質GDP成長率は主要国の中で最も高い伸び。豪州の実質GDPは2021年前半にコロナ前の水準へ回復の可能性。

## 10-12月期の実質GDP成長率は市場予想を上回る

豪州の2020年10-12月期の実質GDP成長率は前期比+3.1%と、市場予想（前期比+2.5%）を上回る結果となりました（図表1）。7-9月期に続いて同+3%台の経済成長が持続しており、豪州経済の正常化が進みつつあることがうかがえます。

## 個人消費中心に内需が実質GDP成長率を押し上げ

10-12月期の実質GDP成長率は個人消費を中心とした内需が押し上げ役となりました。GDPの約5割を占める個人消費が同+4.3%と改善したほか、総固定資本形成も同+3.6%（うち公的投資は同+2.5%、民間投資は同+3.9%）と実質GDP成長率の押し上げに寄与しました。

## 経済活動再開のビクトリア州で個人消費が急回復

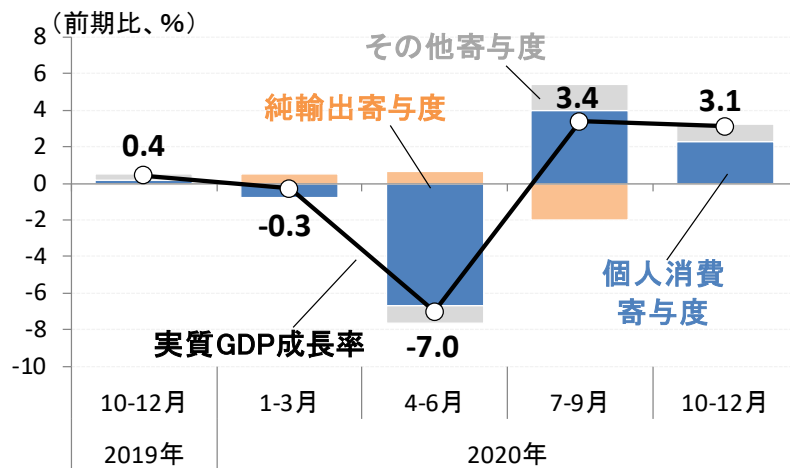
州別に見ると、10-12月期は新型コロナウイルスの第二波が収束したとみられるビクトリア州の経済活動再開の動きが豪州の内需拡大に寄与したとみられます。豪州のGDPの約4分の1を占めるビクトリア州において、10-12月期の個人消費は前期比+10.4%と二桁の伸びとなっています（図表2）。

## 10-12月期は豪州が主要国で最も高い経済成長率

10-12月期の実質GDP成長率（前期比）は、豪州が主要国のなかで最も高い伸びを示しました（図表3）。新型コロナウイルスの感染が抑制されていたことを背景に、高い実質GDP成長率となったとみられます。

足元でも新規感染者数は低位で推移しており、2021年前半にも実質GDPがコロナ前の水準まで回復する可能性もありそうです。

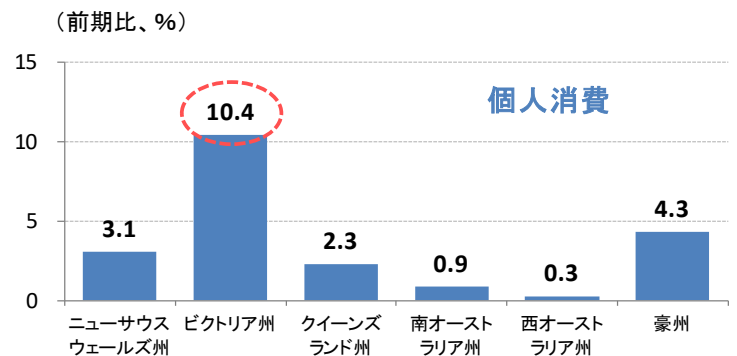
図表1：豪州の実質GDP成長率の寄与度



(出所) 豪州政府統計局 (ABS)

(期間) 2019年10-12月期～2020年10-12月期 (四半期)

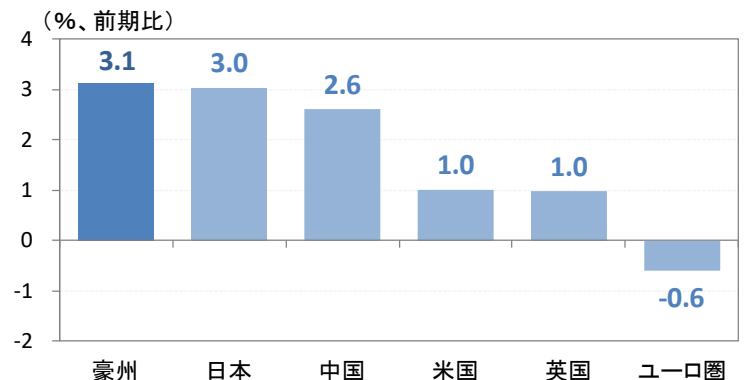
図表2：豪州の州別の個人消費の比較



(出所) ABS

(注) 2020年10-12月期

図表3：主要国の10-12月期実質GDP成長率の比較



(出所) 各国統計局

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506  
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）  
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>